

# 野上重雄

おくりな一七九に討して

昭和六年四月十五日生

常陸大宮市若林

電話



## 【家歴】

当邑草創野上一門の本家筋

で家紋は「丸に三つ引き」を用いる。

十一代を数える当家の祖霊を遡ると、  
享保十七年十一月二十六日歿（一七三

二）道源禪定門が過去帳に判明される。

当家は明治より神葬祭となられている。

※野上姓出自々々別項参照（IIの624）

野上重雄家中興系譜

源蕃 源太左エ門 長次右エ門 利兵

エ治 源五エ門 源五エ門重義 源五

エ門為義 利兵エ 利平 福満 重雄

良広氏の中興系譜となる。

玄祖父源五エ門重義氏。高祖父源五エ

門為義氏は明治六年三月十三日七十七歳で帰幽、諡に野上為義彦命霊神と遺る。曾祖父利兵エ氏は天狗党で活躍され二十八歳で戦死されている。幾乃夫人は稲木の岡崎家より嫁され明治十七年十一月一日六十歳で永眠、諡に野上幾乃媛霊神位と遺る。祖父利平氏は農耕一筋に鋭意努力され大正十年二月十四日七十四歳で帰幽、野上利平一積君之神霊と祭られている。ます夫人は明治三十三年十月二十一日惜しくも四十八歳で逝去、野上満須婦人神位と諡に遺る。尊父福満氏は専農一筋に鋭意格勤され家運隆昌と貨殖伸長に尽力、現家屋を完成され業余に区長、氏子総代、学務委員と地元へ奉仕、昭和二十七年八月二十八日七十一歳で逝去、その諡に野上福満翁霊と遺る。ちよ夫人は那珂町門部の中井川倉之介家より嫁され内助に篤く家政に専心の賢夫人、昭和四十九年二月十四日七十七歳の生涯を逝かれ野上婦人知与媛霊と祭られる。現主重雄氏は先代ちよ女の甥、学務修了後に生まれ入婿、伝来の農業一筋に精勵され家歴の存続に尽力、業余に土地改良区理事・監事、農業委員会副会長と地域に貢献。百夫人は那珂町鴻巣の細谷正司家より嫁され三女を調育の良妻賢母。後継者良広氏は日立市久慈浜の黒沢家より望まれ入婿、恵子夫人は当家次女で二男一女を調育。